

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

事務事業名				新規・継続	
文化財保護活用事業				継続	
会計・款・項・目		所管課			
一般・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課			
事業概要				施策内順位	
市内各所にある文化財は、市民の貴重な財産であり、それらを適切に保存・継承していくことは、今を生きる私たちの責務である。しかし、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等に積極的に有効活用してこそ、より存在意義が高まる。文化財が適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。				2/2	
				市長公約事項	
				無	
投入指標			平成31年度	平成32年度	平成33年度
	年度別事業費		8,523 千円	8,523 千円	10,266 千円
	特定財源	国・県支出金	2,592 千円	2,592 千円	3,070 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	129 千円	129 千円	0 千円
		一般財源	5,802 千円	5,802 千円	7,196 千円
事務事業名				新規・継続	
旧小諸本陣建造物保存修理事業				継続	
会計・款・項・目		所管課			
一般・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課			
事業概要				施策内順位	
北国街道沿いにある「旧小諸本陣」は、城下町であり、宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物であり、国の重要文化財にも指定されているが、著しく老朽化が進行している。このため、これを往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事を実施する。				1/2	
				市長公約事項	
				無	
投入指標			平成31年度	平成32年度	平成33年度
	年度別事業費		2,777 千円	70,000 千円	70,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	35,000 千円	35,000 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
		一般財源	2,777 千円	35,000 千円	35,000 千円

目的	市民の貴重な財産である文化財を永く後世に伝えるため、適切に保存・継承するとともに、観光面等に積極的に有効活用する。				
平成31年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国史跡である「寺ノ浦石器時代住居跡」の遺構等の調査結果のまとめを行う。</li> <li>・小諸城址を市の「名勝」として市内外に広くアピールするとともに、国の名勝指定に向け資料等の準備を行う。</li> <li>・指定文化財保護補助金の交付や文化財説明看板の設置等を通じ、文化財の保存・継承・活用を推進する。</li> <li>・平成30年度に継続して「ふるさと遺産認定事業」を実施する。</li> <li>・歴史ある建造物について、国登録有形文化財にするために登録申請を行う。</li> </ul>					
活動指標	指標名	単位	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	学芸員の配置人員	人	2	2	2
	文化財保護審議会の開催回数	回	2	2	2
特記事項					
目的	国指定重要文化財である「旧小諸本陣」を往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事を実施する。				
平成31年度の目標					
・専門機関に委託して、必要な調査を行い、解体復原工事のための概算設計書（工事費概算内訳書）を作成する。					
活動指標	指標名	単位	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	解体復原工事の実施	—	設計等	工事実施	工事実施
特記事項					
H28年度に文化財保護活用事業から事業分け					